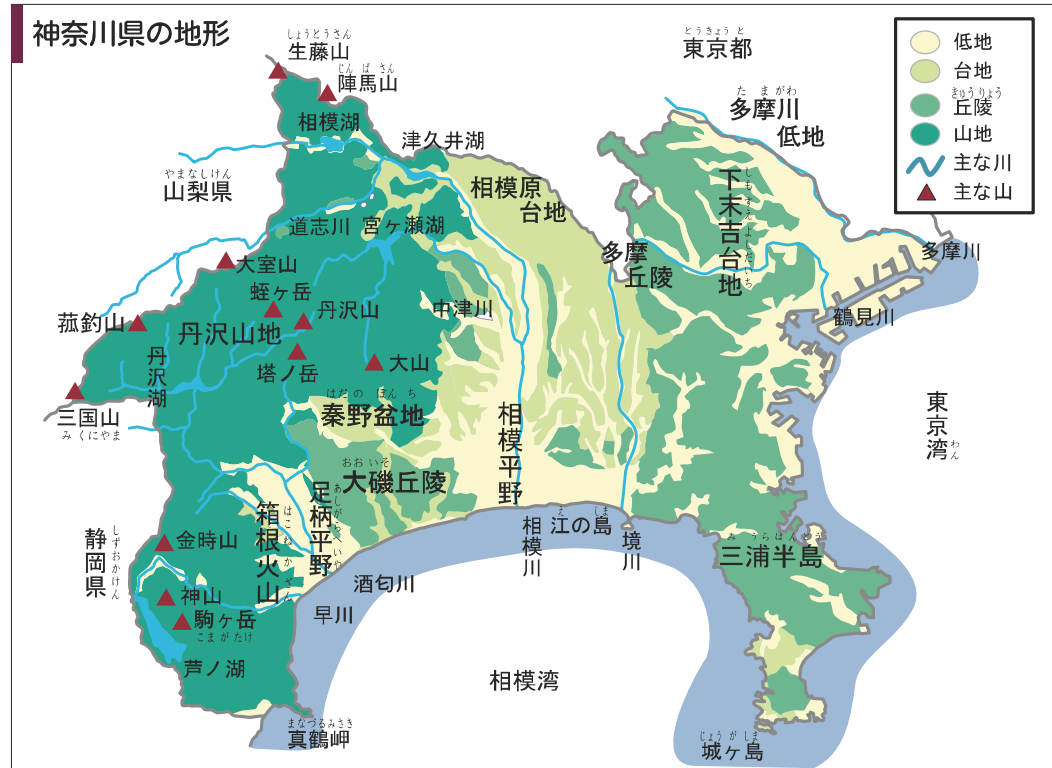


2章 神奈川県はどんなところ？

1 山あり，谷あり，平野あり



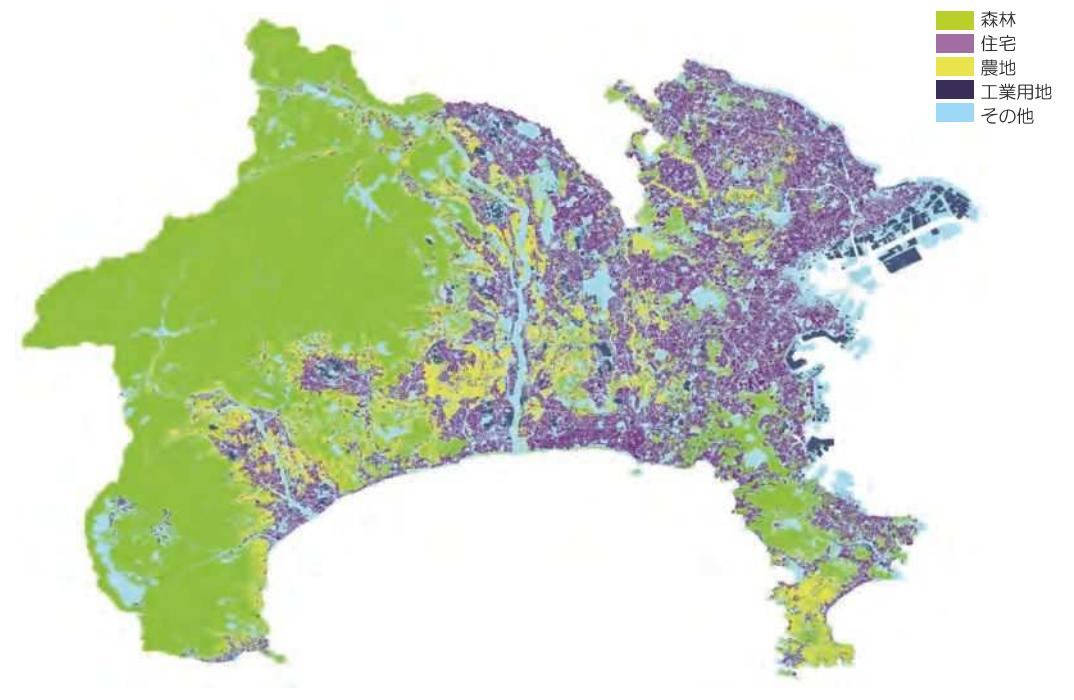
4, 5ページの地域の写真もみてみよう！



| 海からの高さ | 県内を流れる長さ | 面積 |
|---|---|--|
| 神奈川県 蛭ヶ岳 1,673m 大室山 1,587 丹沢山 1,567 塔ノ岳 1,491 神山 1,438 孤釣山 1,379 大山 1,252 <small>(日本の山岳標高一覧 国土地理院)</small> | 神奈川県 相模川 55.6km 境川 52.1 中津川 32.8 つるみがわ川 32.0 鶴見川 32.0 多摩川 28.4 さかわがわ川 27.2 道志川 21.7 <small>(県土整備局調)</small> | 神奈川県 芦ノ湖 6.9km ² 宮ヶ瀬湖 4.6 相模湖 3.3 津久井湖 2.5 丹沢湖 2.2 <small>(県土整備局・企業庁調)</small> |

神奈川県の西には、丹沢の山々や、箱根の山々があります。中央には相模川、西の方には酒匂川、東京都との境には多摩川が流れており、そのまわりには広い平野ができています。南東の地域は丘陵となり、三浦半島がつき出して東京湾と相模湾を分けています。

神奈川県の土地利用図

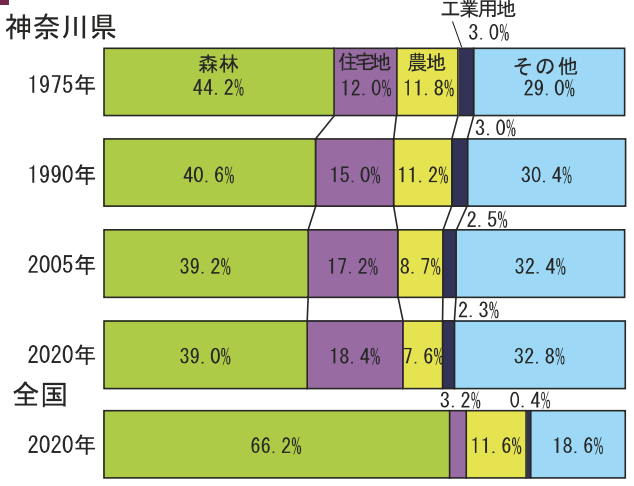


22ページの「神奈川県の地形」と見くらべてみよう。



（「都市計画基礎調査（令和2年基準）」）

土地利用の様子（2020年）



※その他とは、道路、学校、公園、川、海岸などです。
 ※各年の割合の合計は、端数処理の関係で100%にならない場合があります。
 （県政策局・国土交通省調）

神奈川県の土地利用の様子をみると、住宅や工場に使われる土地の面積の割合は全国平均の約6倍もありますが、森林や農地の割合は全国平均より低くなっています。住宅や工場に使われる土地が多く、森林や農地が少ないことが特徴です。

22ページの「神奈川県地形」と見くらべてみよう！

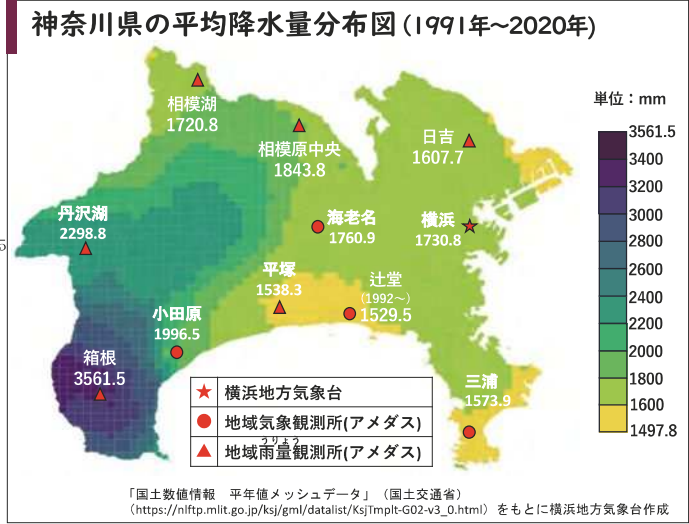
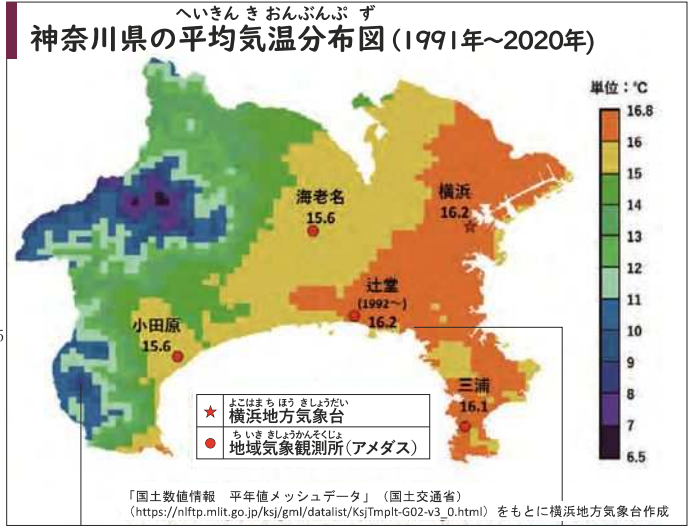


2 あたたかな気候

神奈川県は、日本の中でも気候の良いところといわれています。それは、丹沢・箱根の山々が、大きなかべの役目をして冷たい風をふせぎ、太平洋側からはあたたかい空気が流れこむからです。

気候や降水量は、地形と関係があります。

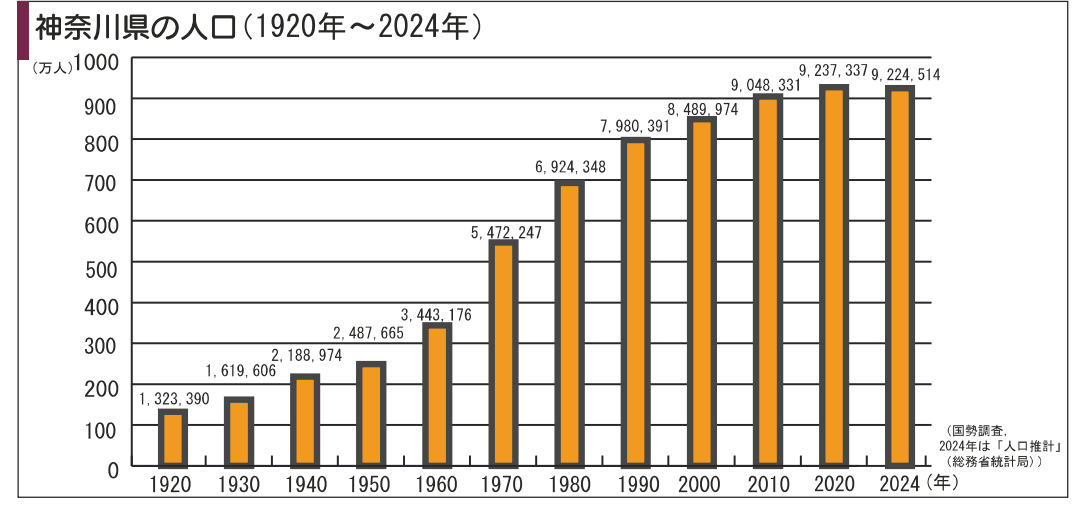
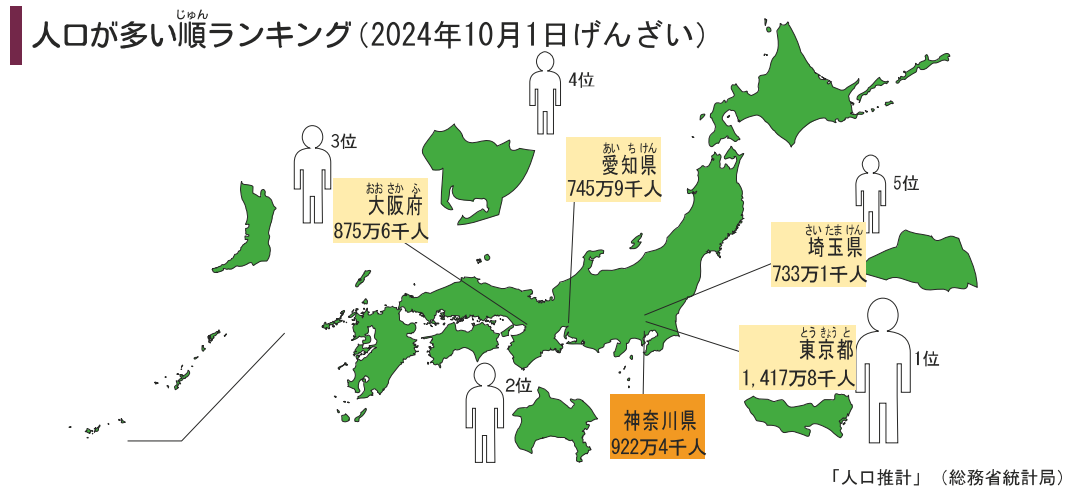
西の方の山地では、気温は低く、降水量はほかの地域の約2倍です。中央や東の方は、山地にくらべて気温は高く、降水量は少なくなっています。



神奈川県の気候はどのように変化しているのかな？



3 全国で2番目の人口



2024年(令和6年)10月1日の神奈川県の人口は、約922万4千人(男:約457万5千人、女:約464万8千人)で、東京都に次いで全国で2番目の多さです。

これまで、神奈川県の人口はふえ続けていきましたが、2021年(令和3年)以降、神奈川県の人口はへり始めています。

4 さかんに行き交う人や物

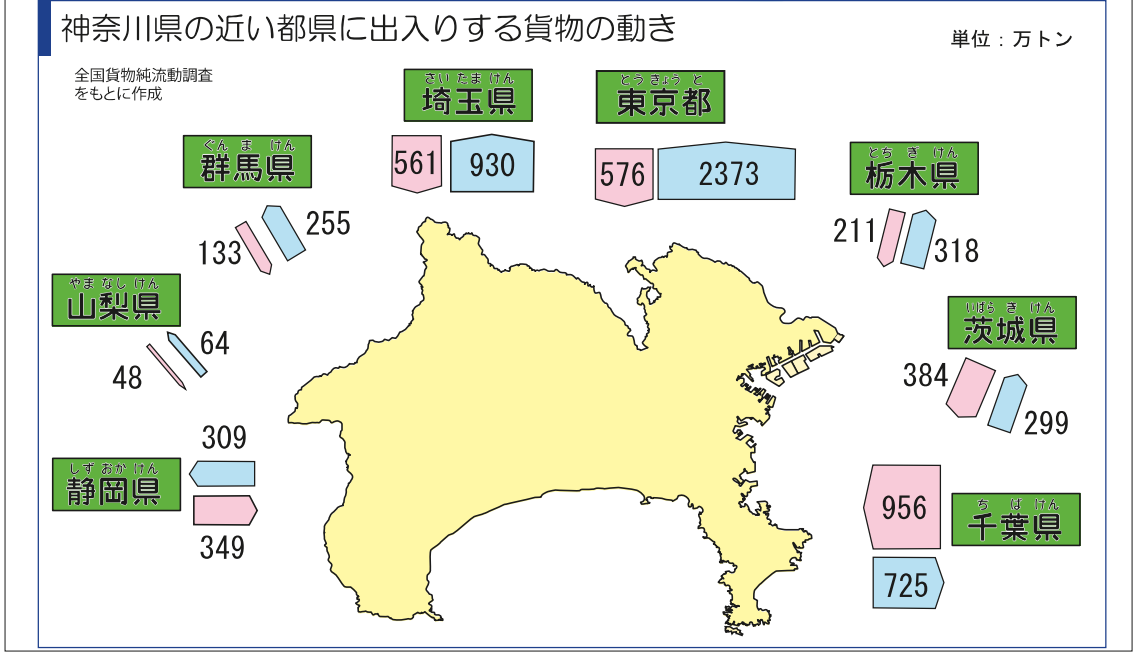
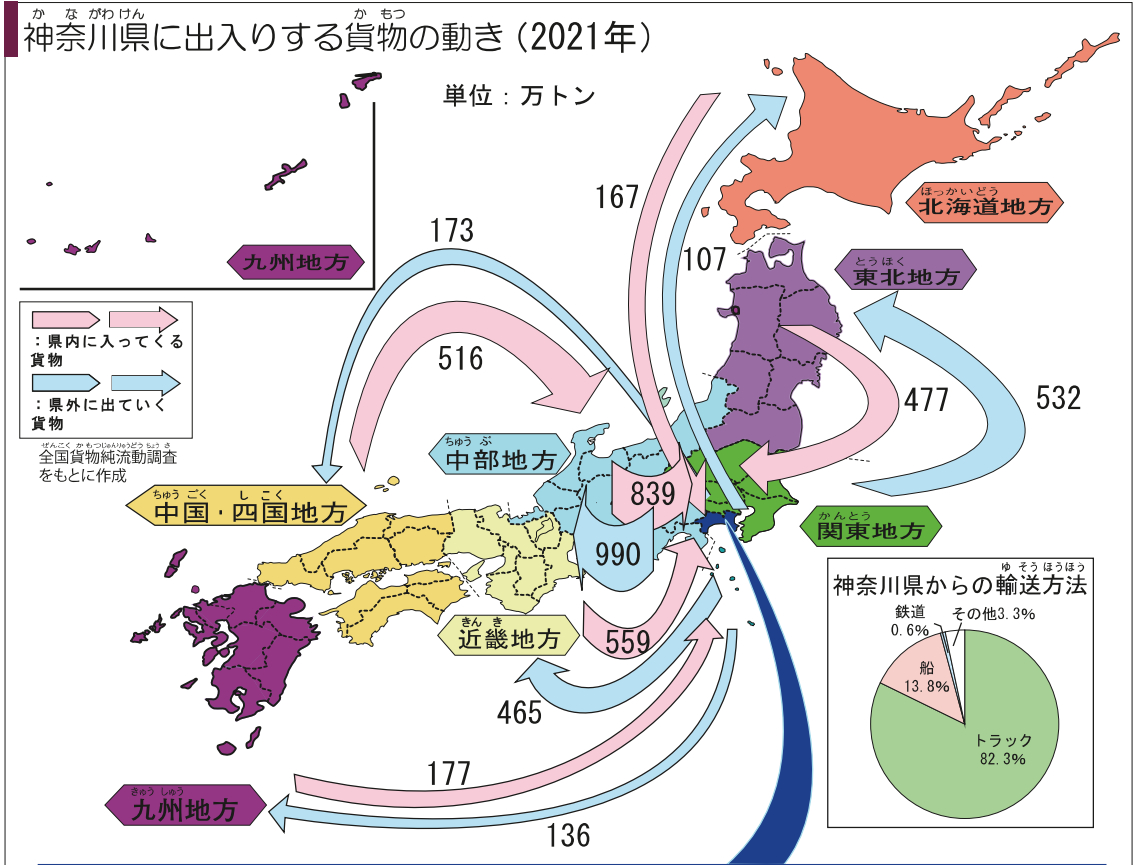
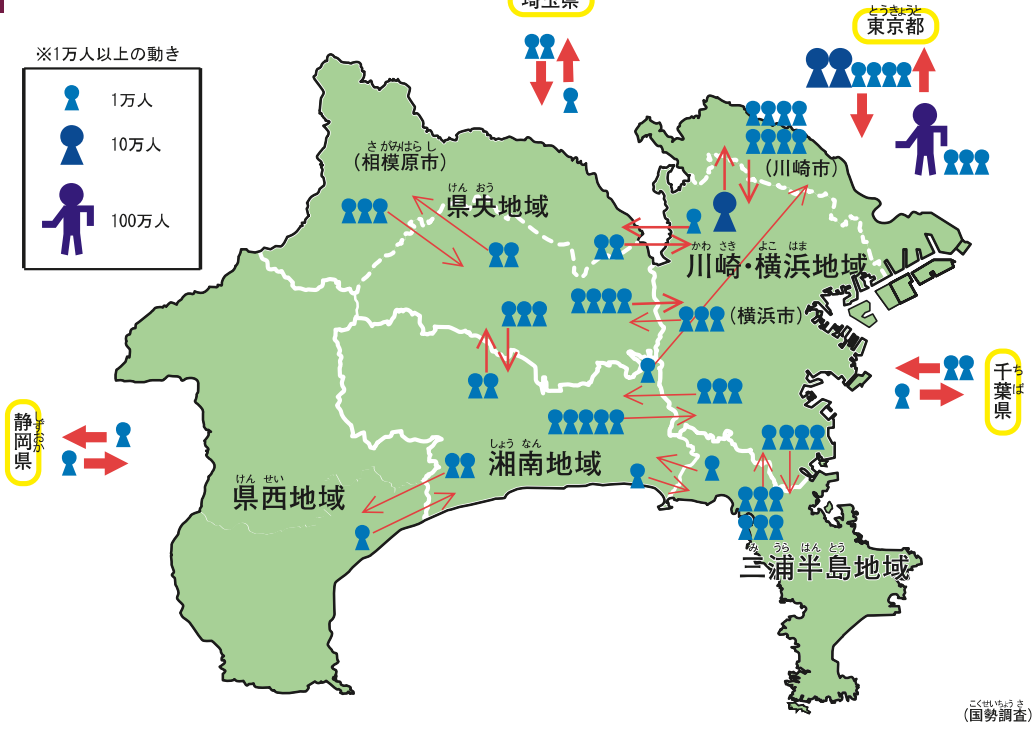
わたしたちは、学校に通ったり、買い物や旅行に出かけたり、毎日のように移動しています。また、くらしに欠かせない食料品や衣料品などは、わたしたちの手にとどくまでに、さまざまなところから運ばれてきます。一方で、県内で生産された農産物や工業製品などは、国内のいろいろな地域に運ばれていきます。

こうした人や物の移動には、車、電車、船、飛行機などが使われます。



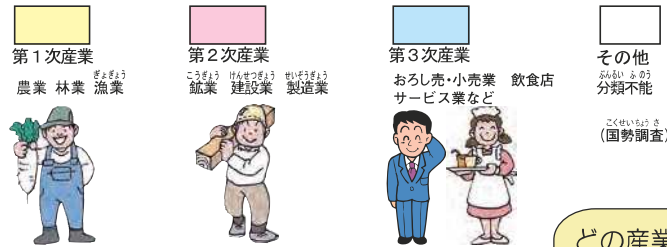
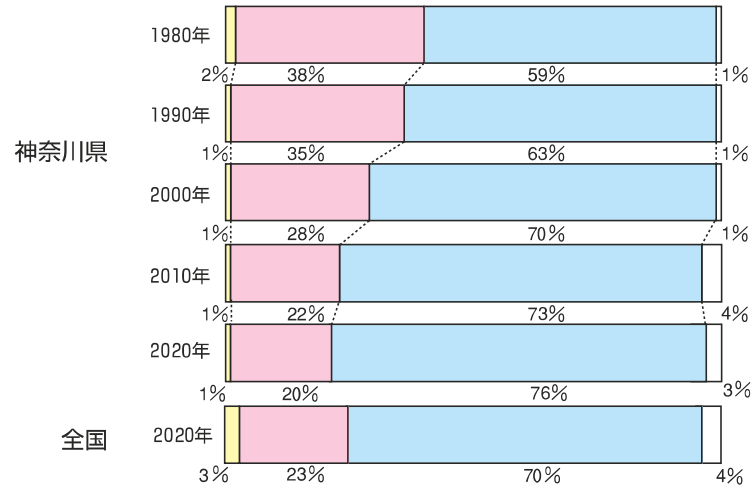
通勤・通学の動きを見て気付くことはあるかな？

通勤・通学の動き (2020年)



(1) 産業の様子

産業別人口の割合のうつりかわり



第1次産業の様子：ダイコン農家（三浦市）



第2次産業の様子：トンネル工事（栗山町）



第3次産業の様子：商店街（横浜市）

画像提供：横浜市観光協会

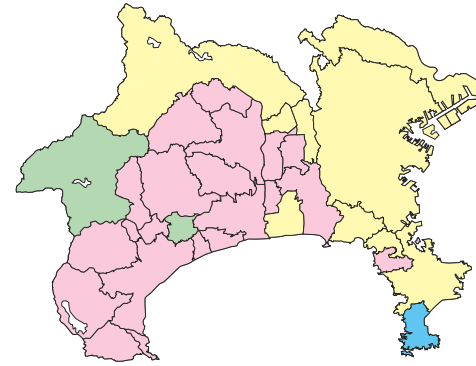
どの産業で働く人が多いのだろう？



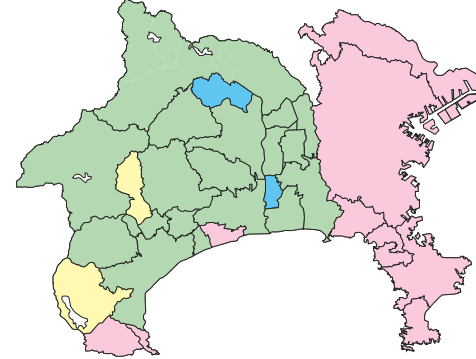
県民で働いている人は、およそ415万3千人〔2020年（令和2年）〕で、全国で2番目に働いている人が多くなっています。仕事の内容を分類すると、最も多くの方が、おろし売・小売業、サービス業などの第3次産業で働いています。農業や漁業などの第1次産業や、製造業などの第2次産業で働く人が年々へっているのに比べて、第3次産業で働く人の割合はふえています。

産業別人口割合マップ（2020年）

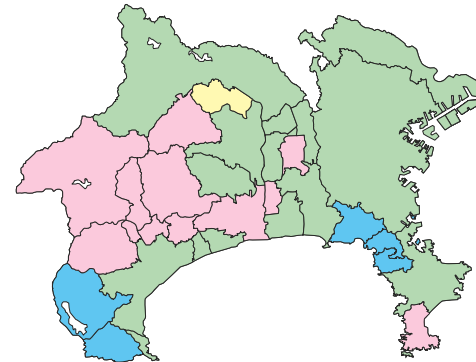
第1次産業



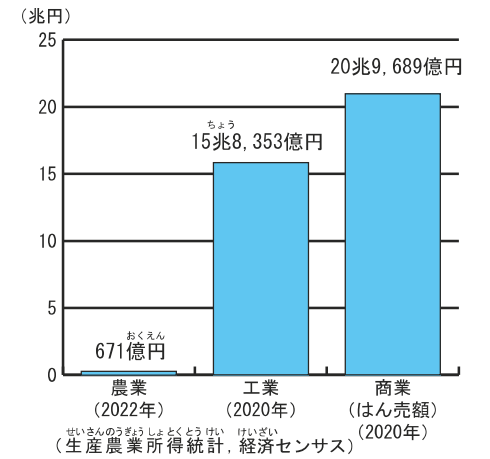
第2次産業



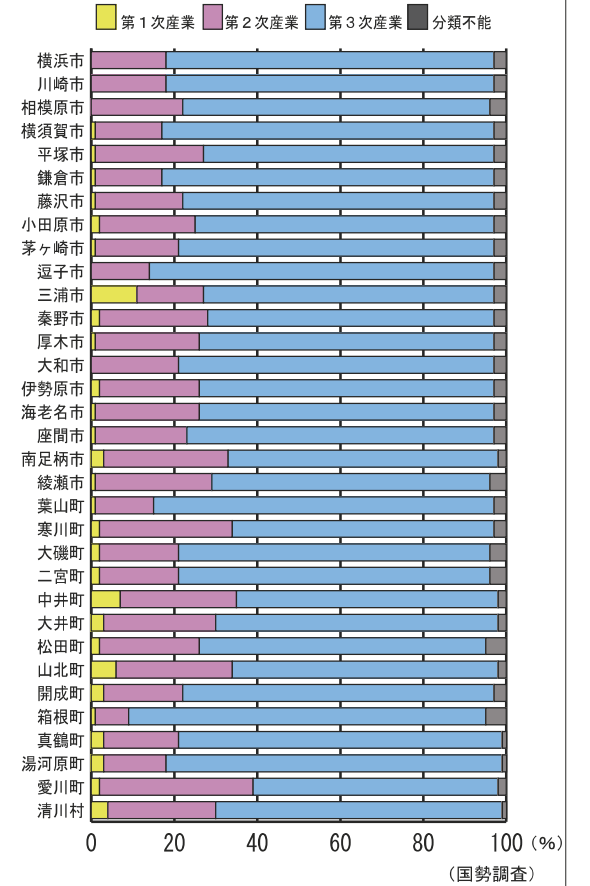
第3次産業



主な産業の生産・はん売額



市町村の産業別人口割合（2020年）



(2) 農業：神奈川県内でつくられる野菜やくだもの

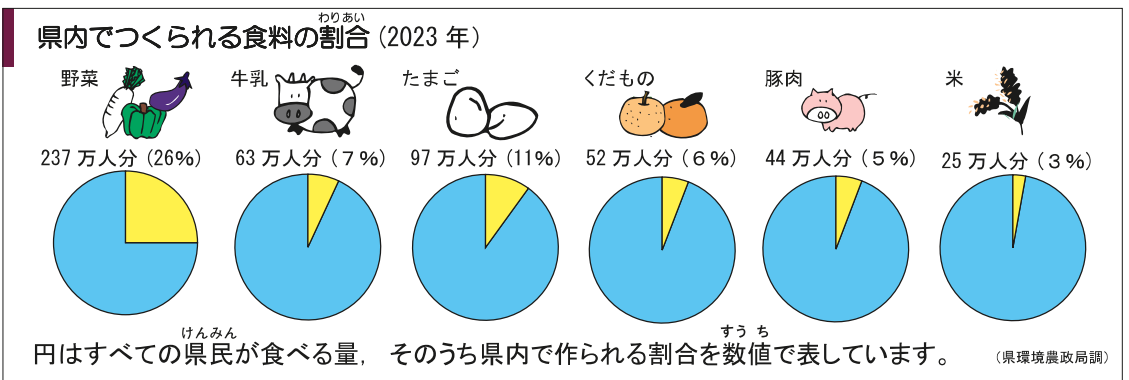
神奈川県内でつくられた新せんで安全な農畜産物は、わたしたちの健康に役立っています。また、田や畑などの農地は、自然とのふれあいや、やすらぎの場になっています。

神奈川県の農地面積は、県全体の約7.4パーセント〔2024年（令和6年）〕しかありませんが、かぎられた農地でいろいろな作物を工夫して育てています。しかし、人口が多く、必要としている量には足りないのです、他の県や外国から食料を買っています。



都市の中で家畜をかうことは大変ですが、県内の農家は牛、豚、鶏を工夫して育てています。みんなが学校給食で飲んでいる牛乳は、その多くが県内で作られています。

海、山、川のめぐまれた自然にはぐくまれ、小田原のみかんや足柄茶の生産もさかんです。



各地域の主な農産物など



温室でのトマトの収穫 (藤沢市)

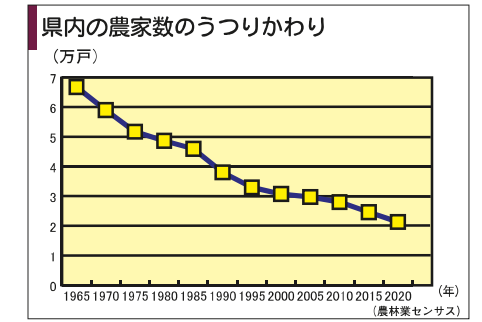
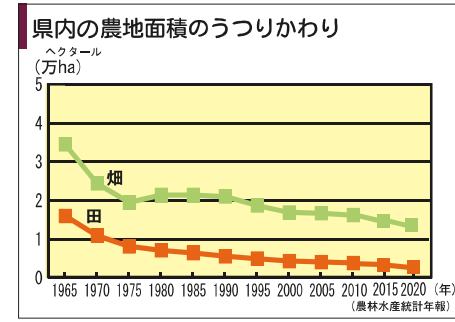
温室などを利用したトマトやきゅうりなどの生産がさかんです。生産する時期を変えることができるので、せまい農地で高い収入を得られます。

キャベツの収穫 (横須賀市)

三浦半島は、あたたかい気候と広い台地を生かしてキャベツ・だいこん・すいかなどの大産地となっています。

市場外流通

市場外での流通は、野菜などを作る生産者とそれを食べる消費者が直接やりとりできる場で、おたがいにつながりあうことができます。たとえば、直売所や朝市などがあります。



はたら 神奈川県内の農林水産業で働いている人にお話を聞いたよ。それぞれのお仕事の楽しいところはどんなところかな？

資料：神奈川県環境農政局 (農林水産業で働く方のインタビュー)

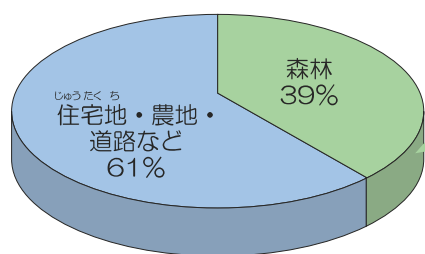
(3) 林業：森の役割

神奈川県かながわけんの森林りんは、県の西部せいぶに多く、面積めんせきは県全体けんぜんたいの約39パーセント〔2024年れいわ（令和6年）〕となっています。

神奈川県かながわけんの森林りんのうち、約4割わりは、人が木きを植うえて育そだてた林りんで、そのほとんどがスギやヒノキです。このスギやヒノキの林りんのうち約8割わりは、植うえられてから50年いじゅう以上もくざいがたち、木材もくざいとして利用りようできる大きさに育そだっています。

森林りんは、緑きよのダムだむとよばれ、きれいな水みづを作る水源すいげんとなったり、さまざまな生き物いきものを守る大切な役割やくわりを果たはたらしているほか、土砂どしゃくずれなどの自然災害しぜんさいがいをふせいだり、二酸化炭素にさんかたんそをきゅうしゅうして地球温暖化ちきゅうおんだんかをふせぐはたらきもあります。また、森林りんからは木材もくざいなども生産せいさんされ、建物たてものなどに使つかわれています。

神奈川県の面積のうち
森林がしめる割合



宇宙から見た神奈川県（県立生命の星・地球博物館提供）



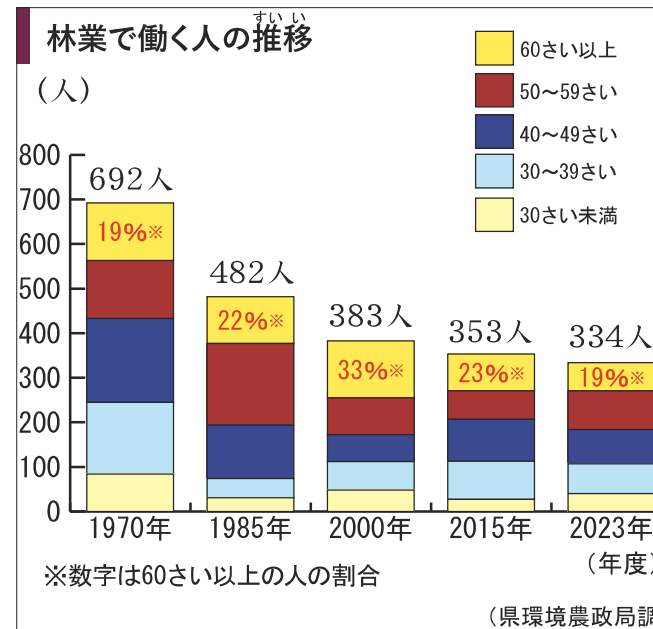
切った木を運び出す作業（伊勢原市）



県産の木材を使ったスポーツセンター（山北町）

林業りんぎょうで働く人ひとは、1970年度はたら（昭和45年度）は692人ちようきできいましたが、長期的には減少げんしょうしています。

また、60歳わりあい以上の割合わりあいが、2000年度平成12年度（平成12年度）には約33パーセントをわかがえしていましたが、近年わかは若返りわかが進み、2023年度令和5年度（令和5年度）は約19パーセントわかとなっています。



花粉の少ないスギ・ヒノキ

木材もくざいは、戦争せんそうなどに必要な材料ひつようざいりようとして、戦後せんごはこわれた家を直す材料として利用りようされました。山やまでたくさんたくさんの木きを切きったため、神奈川県かながわけんをはじめ日本各地かくちの山やまはあれ、土砂災害さいがいが起こるようになりました。そこで、不足ふそくしている木材もくざいを生産せいさんし、山やまを守るためにたくさんたくさんのスギ・ヒノキが植うえられました。

近年せいちうはスギやヒノキが大きく成長せいちうして、たくさんとの花はな粉こなを飛ばとすようになりました。

スギ・ヒノキから飛散ひさんする花粉かふんは花粉症かふんしょうの原因げんいんにもなることから、近年なえぎでは県内ひんしゆで生産せいさんされるスギ・ヒノキの苗木なえぎは、すべて花はな粉こなの出でない品種ひんしゆや少ない品種ひんしゆになっています。



花粉の出ないスギの調査

(4) 水産業：ゆたかな海のめぐみ

神奈川県かながわけんの海岸には多くの漁港ぎょこうがあります。三浦半島みうらはんとうの三崎漁港みさきは、まぐろ漁船えんようぎょぶねを中心とした遠洋漁業きちの基地として有名です。東京湾とうきょうわんでは、たちうおさ、すずきがみわん、あなごさ、かれいていちあみなどがとれます。相模湾さがみわんでは、あじさ、さばていちあみ、いわしなどを定置網ていぢあみでとっています。岩や石の多い海岸では、あわびあやさざえしがとれます。このように地域ごとに特色のある漁業ちいきとくしょくをしています。

「つくり・育てる漁業」にも力をそそいでいます。まだい、とらふぐたまご、あわびなどを卵から育てて相模湾や東京湾に放流しています。また、のりのりやわかめなどの養しようょくあしも行われています。芦ノ湖あしのこでは、わかさぎわかさぎ、相模川さがみがわなどではあゆあゆを放流しています。自然ぜんゆたかな海や川でないと、おいしい魚は育ちません。



とらふぐの稚魚の放流風景（三浦市）



わかめ養しよくの風景（横須賀市）

神奈川県せいせんけんの漁業生産量りよくは約2.6万トン〔2022年（令和4年）〕で、漁業種類しゅるいごとの割合わりあいは、沿岸漁業えんがんが約45パーセント、沖合漁業おきあいが約2パーセント、遠洋漁業が約50パーセント、養しあょくしが約3パーセントとなっています。

沿岸漁業

沿岸漁業は、陸から近い海域で行われる漁業で、基本的に日帰りで行われます。定置網は神奈川県せいせんけんの沿岸漁業の生産量の7割をしめる、重要な漁業です。一定の場所に長く網を張っておき、中に入った魚を漁獲するものです。



定置網の操業風景（石橋定置）

沖合漁業

1回の操業は、2、3日～1週間くらいです。主に伊豆諸島や四国沖などを漁場としています。

遠洋漁業

1回の航海は数か月から1年以上になります。



神奈川県水産技術センター

神奈川県せいせんけんの漁業データ

| 項目 | 単位 | 神奈川県 総量 | 都道府県 順位 |
|-----------------------|----|------------|------------|
| 漁業 就業者数 (2018年) | 人 | 1,848 | 28位 |
| 漁船 せき数 (2018年) | せき | 1,779 | 27位 |
| 漁業 生産量※ (2022年) | トン | 26,434 | 27位 |

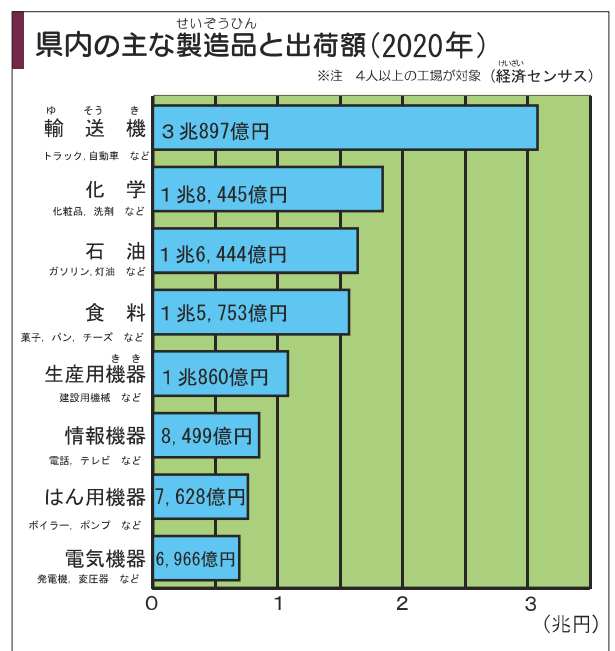
（出典：「漁業センサス」、「海面漁業生産統計調査」、「内水面漁業生産統計調査」、「漁業産出額」県水産課調）
※海面漁業・養しよく業の生産量の合計

ある定置網の乗組員の一日の流れを聞きました。

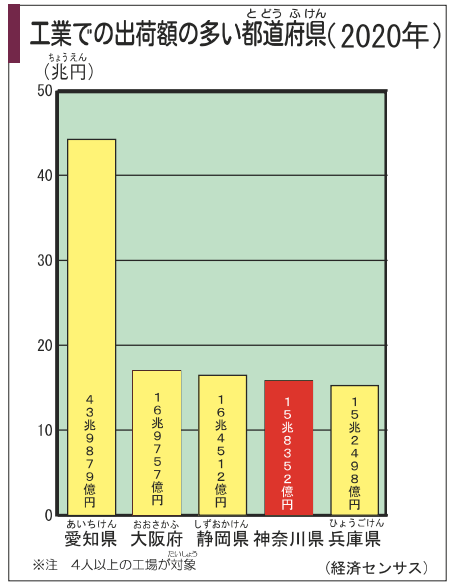
- 2:00 港に集合
- 2:20 出港
- 2:50 漁場（定置網）に着く
網をあげて魚をとり上げる
- 4:00 終了
- 4:30 帰港
魚市場へ水揚げ
選別、出荷作業
- 6:00 朝食
翌日の仕込み
網の手入れ
- 12:00 終業、解散

(5) 工業：全国第4位の出荷額

神奈川県は、工業が大変さかんな県であり、出荷額（工場生産された物のうち、送り出された物の金額）は、全国第4位です〔2020年(令和2年)〕。



海に面した場所に続く工場(川崎市 横浜市)

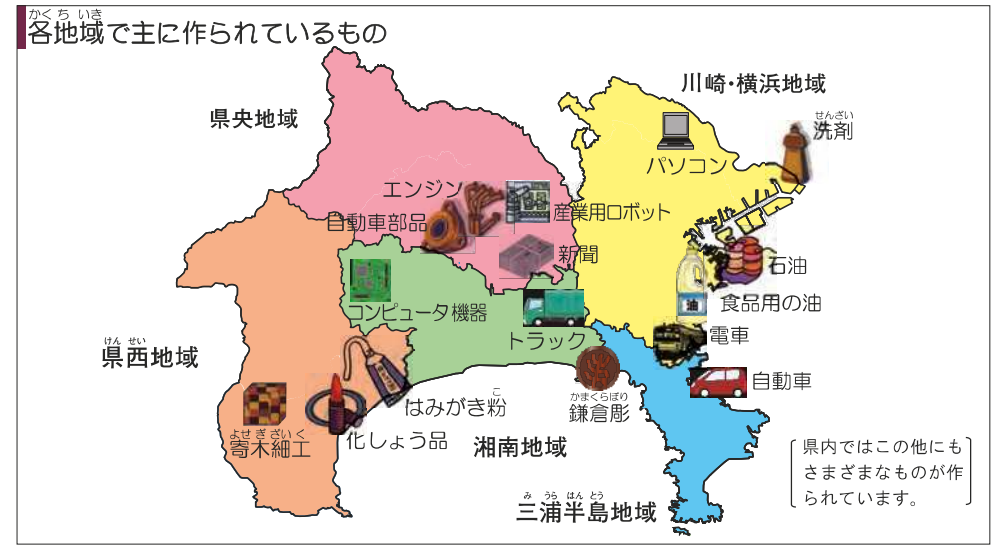


どんなものが出荷されているかを調べてみると、トラック、自動車などの輸送機が多くなっています。特に、川崎市や横浜市の海岸のうめ立て地を中心とした京浜工業地帯は、石油コンビナートや自動車工場などがたちならんでいて、日本で工業のさかんところの一つです。

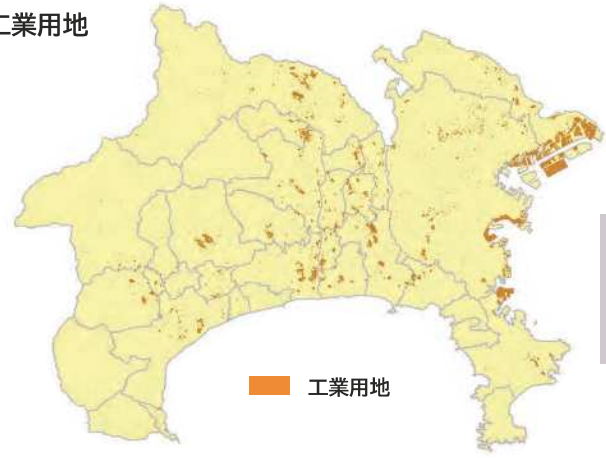
また、湘南地域や県央地域には、広いしき地にいろいろな工場が集まる工業団地があり、電気製品や自動車などが生産されています。これらの工場では、大型の機械を使って、生産が行われています。



湘南地域の工業団地(秦野市)



主な工業用地



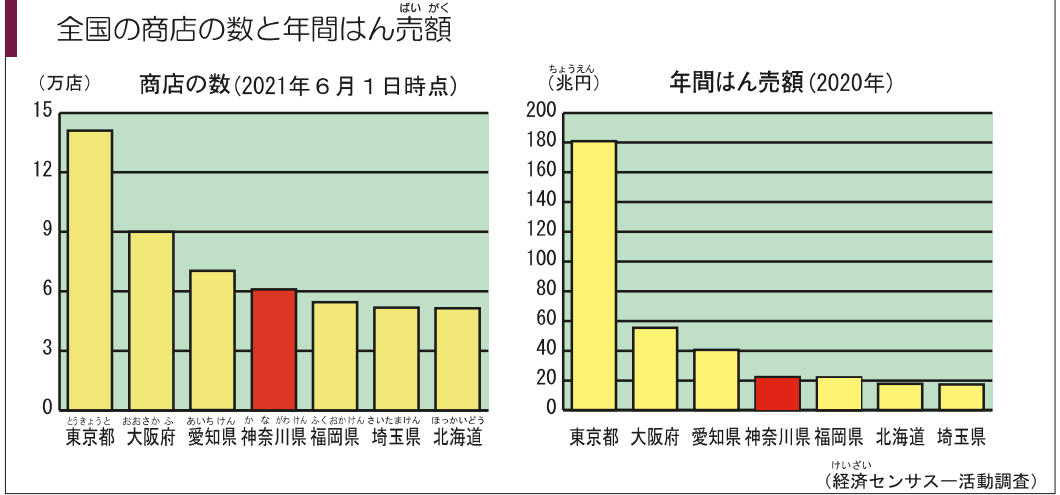
「都市計画基礎調査(令和2年基準)」



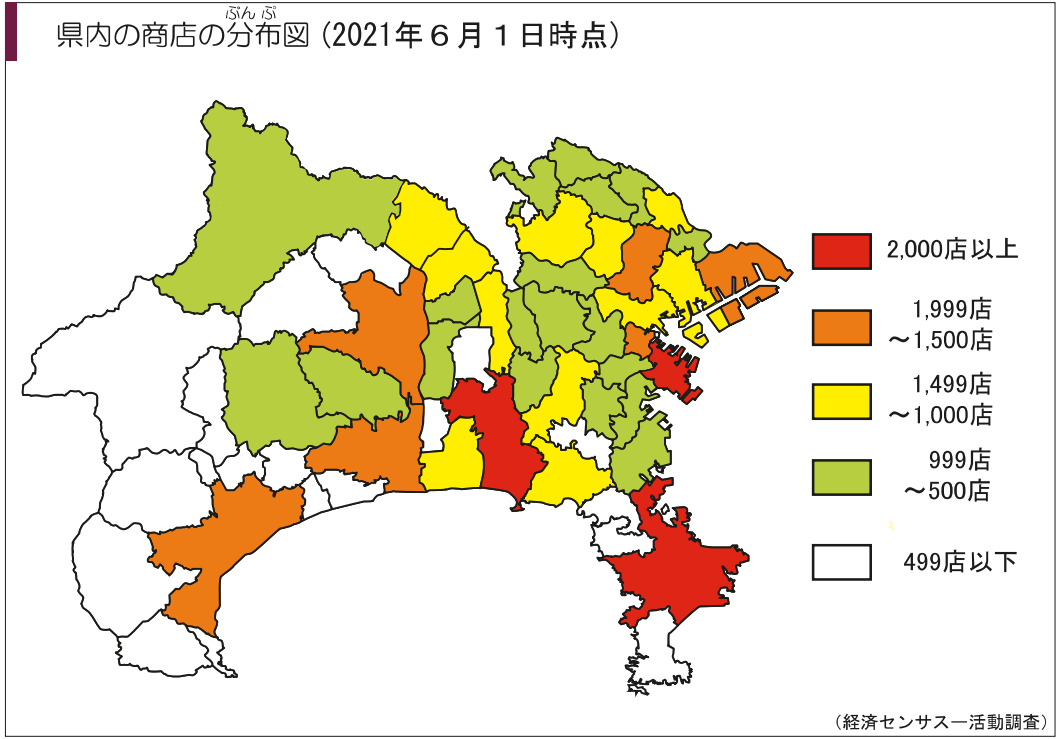
横須賀リサーチパーク(横須賀市)

また、最近新しいぎじゅつの開発をめざす研究所が県内各地でふえています。

(6) 商業：さまざまな生活にあった商業



神奈川県の商店の数は、6万1,012店〔2021年(令和3年)6月1日時点〕で、全国第4位であり、はん売額で見るとおおよそ22兆円〔2020年(令和2年)〕で、全国第4位となっています。



最近^{さいきん}は、さまざまな生活にあわせた店が多く見られるようになりました。

通りにそって、たくさん^{ひつよう}の店がならんでいる商店街^{しょうてんがい}では、お店の人と相談しながら、必要な量だけを買うことができます。



商店街 (川崎市)

いつでも開いていて便利なコンビニエンスストアや、広いちゅう車場をもつ大きなスーパーマーケットでは、買い物だけでなく、チケット予約や宅配便の申し込み、銀行ふりこみといったさまざまなサービスを取り入れています。

さまざまな種類の店が集まっているショッピングセンターには、買い物ができる場所のほかに、遊ぶ場所や、いろいろな飲食店が集まったフードコートなどもあります。



ショッピングセンター (横浜市)



ショッピングセンター (海老名市)

(7) 貿易：原料を輸入して製品を輸出

日本の産業は、外国から原料などを買い、それを製品にして外国に売るといふ貿易のしかたによって発展してきました。

神奈川県には、横浜港、川崎港、横須賀港の3か所の貿易港があります。



3か所の貿易港の位置



横浜港（本牧ふ頭）

横浜市港湾局提供

特に、横浜港は、日本を代表する貿易港であり、160年以上の歴史をもっています。毎年およそ9千せきの外国からの船が入港し、200以上の国や地域と貿易を行っています。横浜港の2024年（令和6年）の貿易額は、成田空港、東京港、名古屋港に次いで全国第4位です。

横浜港で取りあつかう輸出品（外国へ送り出すもの）のほとんどは工業製品です。中でも、自動車やその部品、工場などで使う機械が多く輸出されています。

また、輸入品（外国から運ばれてくるもの）で多いのは、アルミニウムや液化天然ガス、石油製品といった原料と食料品です。

輸出品

- 自動車
- 自動車部品

輸入品

- アルミニウム
- 液化天然ガス
- 食料

横浜港は、近くに京浜工業地帯があり、工場ですでにできた製品を船で外国へ運ぶのにとっても便利な場所にあります。

ふ頭には、近代的なコンテナターミナルがあり、機械によって多くの荷物が積みおろしされています。大きなコンテナ船には、およそ2万4千個のコンテナを乗せることができます。

また、石油などはタンカーという大きな船で運びます。



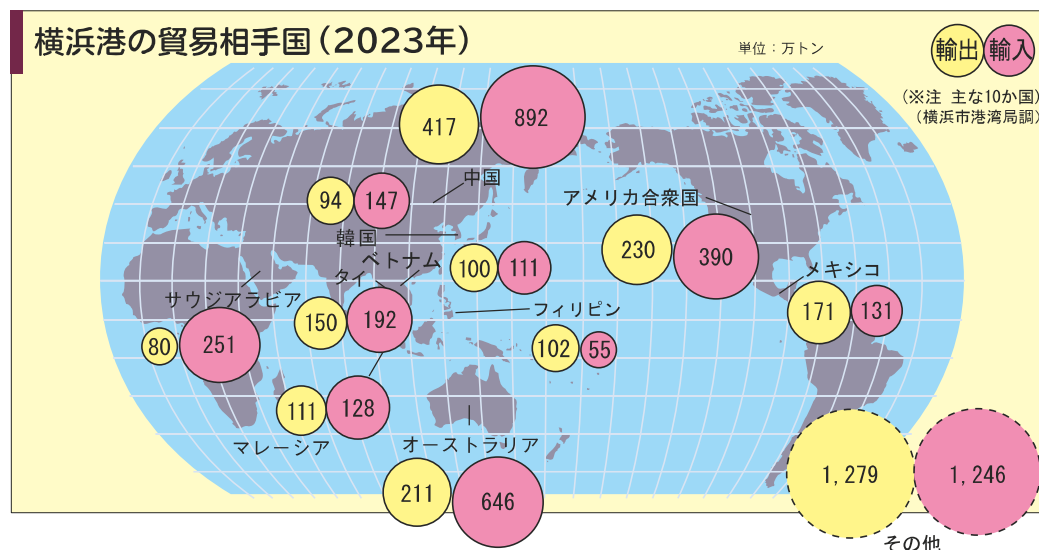
コンテナを船に積む作業

横浜市港湾局提供



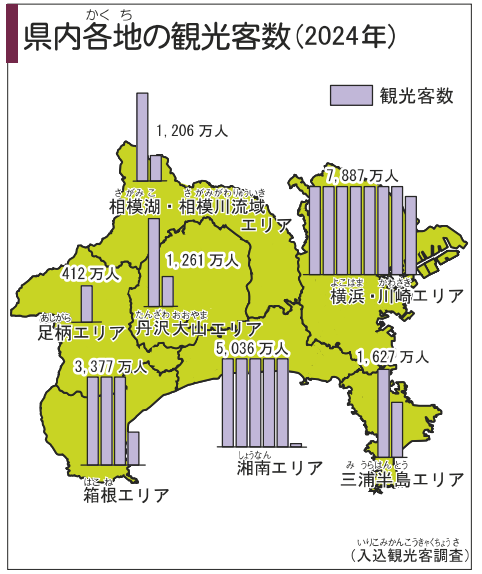
タンカー

横浜港の輸出量が最も多い貿易の相手国は中国で、一般機械や化学製品の輸出が多くなっています。輸入量が最も多い貿易の相手国も中国で、電気機器や金属製品などが多くなっています。



(8) 観光：楽しさいっぱいの神奈川県

神奈川県には、変化の多い海岸や、箱根・丹沢の山々などの美しい自然、歴史的に有名な鎌倉、国際港や中華街のある横浜など、多くの観光地があり、国内ばかりでなく外国からも、たくさんの観光客がおとずれています。



神奈川県を1日で楽しめるようなコースを考えてみよう！



(イラスト コダイラ ヤスシ)